

3月7日に「世界一・日本一」合同企業説明会

今年、創業百周年を迎える。日本で唯一、鋼製ドラム缶とファイバー（紙製）ドラム缶Ⅱ写真Ⅱの製造販売を手掛ける

ファイバードラム缶は1958（昭和33）年、大阪・枚方工場で製造を開始。ごみ箱や小物入れのほか、コーヒー豆や錠剤を保管する容器として使われている。リサイクルも可能で強度もあり、環境に優しい人気商品だ。

社の主力製品は鋼製ドラム缶。20リットルが入る中小型である。シェアは国内トップの35%を誇る。それを支えているのが溶接や塗装、プレスなどの技術力だ。

「溶接はつなぎ目が分からないうようにプレスをかけ、見た目も美しく丁寧に仕上げている」



総務部係長の坂本泰啓氏は胸を張る。特に塗装では、吹き付ける塗料に静電気を帯びさせて、缶の塗装面に塗料を吸い付かせる仕組みになっており、低コストで綺麗な缶に仕上がるという。

鋼製ドラム缶とファイバードラム缶は今年2月から一般消費者向けにネットでも販売される。ファイバードラム缶については、デザイン会社が商品化するなど販路の拡大を図っている。

受注も増え市場も拡大する中、社が力を入れているのが将来を担う若手社員の育成

ダイカン株式会社

若手を育てドラム缶の製造技術継承

だ。

課題は、ドラム缶の製造技術を若い社員にどう伝え、事業を継続発展させるかである。

昨半夏、採用された若手男性社員Ⅱ写真中央Ⅱはまず、製造現場を経験。その後、法人営業に異動した。製造の過程で得た知識をルートセールスに生かしている。

入社後のきつかけはハローワークでの面接。モノづくりに興味があり「社は日本で唯一の産業用容器総合メーカー。その事業内容に興味を持った」



仕事では、担当のお客様をフォローし、商品の見積もりや商品の案内に汗を流す。

「営業職はお客様が何を望んでいるかをしっかり掴み、その解決策をどう提案できるかが大切だ。お客さまの窓口として貢献できるような日々勉強し、社業の発展に貢献したい」と意気込む。

大学卒は営業や製造現場を担う製造職等として採用される。その後、キャリアを積み得意な分野で活躍する。研修は外部機関を通じて安全教育を実施。危険対策の知識を身に付ける。

坂本氏は「若手社員は社の財産だ。基礎からしっかり育て将来、社の中核を担う人材になって欲しい」と期待を寄せる。

学内で求人紹介や添削、面接対策も

大阪新卒応援ハローワークは、府内の大学や短大に出向き学生の相談を受ける学内出張相談会を実施している。学内のキャリアセンターに専用ブースを設置。会社選びから求人情報の解説や紹介、応募までJ S（ジョブサポーター）が一貫して支援する。

大阪・梅田の当所まで遠くて頻繁には行けない方、授業や卒論作成の合間に就活の相談をしたい方が対象。未内定の方はもちろん、既に内定先はあるが、納得できるまで就活を続けたい方もOKだ。新規登録も合わせて実施しており、ハローワークを初めて利用される方も気軽にブースを訪ねて欲しい。企業での実務経験があるJ Sが応募書類の添削や面接対策について懇切丁寧に対応する。

大阪新卒応援H W 出張相談会

本年度は今年3月末まで実施する。対象校の学生で利用を希望される方は各校のキャリアセンターに相談の上、申し込んで欲しい。

出張相談会を利用し意中の企業に内定した大学生は「授業に出席し、ゼミ活動をしっかりこなした上で就活の相談ができた。求人紹介と添削が役に立った」と勝因を振り返った。

本年度の対象校は次の通り。大阪学院大・短期大学部、大阪経済法科大、大阪工業大、大阪樟蔭女子大、大阪成蹊大・短期大学、大阪商業大、大阪市立大、関西外国語大・短期大学部、四天王寺大・短期大学部、摂南大、帝塚山学院大、阪南大、桃山学院大、桃山学院教育大・プール学院短期大